平成 28 年刑（わ）第 2019 号

東京地方裁判所刑事部　殿

外科医師の早期釈放を求めます

―　外科医師不当起訴事件　―

外科医師は、本年８月２５日に突然逮捕され、９月１４日起訴され、現在も身柄拘束が続いています。

医師の長期に及ぶ身柄拘束は、現場の医療に混乱を及ぼし、医師や医療関係者に不安を与え、医療の萎縮につながるばかりか、多くの患者の生命や健康にさえも損害を及ぼす重大事態です。

４回にわたる家宅捜索も済み、関係証人の取り調べも終わり、すべての証拠が集められ、証拠隠しや口裏合わせの余地はありません。

この身柄拘束は、無実を訴え続ける外科医師への報復であり、人権侵害です。

私たちは、外科医師の早期釈放を求めます。

氏　　名（ご職業）	住　　所